

## 平成22年度 情報数学基礎 第1回中間試験問題 (伊野担当分)

1  $X = \{\{1, 2\}, \{1, 3\}, \{2, 3\}\}$  とする.

(1) べき集合  $\mathcal{P}(X)$  を示せ.

(2) 次の述語を真にする  $Y \in X$  と  $W \in \mathcal{P}(X)$  をすべて示せ.  $Q = \{\{1, 3\}, \{2, 3\}\}$  とする.  
ここで,  $\emptyset$  は空集合を表す.

(a)  $\forall Z \in Q[Y \cap Z \neq \emptyset]$

(b)  $\forall V \in \mathcal{P}(X)[V \subseteq W]$

2 命題関数  $M(x, y), L(x, y)$  を右表のように定義する. ただし,  $x, y$  の対象領域は  $A = \{a, b, c\}$  とする. 次の命題の真偽を判定せよ. 理由を簡単に述べること.

(1)  $(\forall x \in A)(\forall y \in A)[M(x, y) \vee L(x, y)]$

(2)  $(\exists x \in A)(\forall y \in A)[M(x, y) \Leftrightarrow L(x, y)]$

(3)  $(\forall x \in A)(\exists y \in A)[M(x, y) \Rightarrow L(x, y)]$

(4)  $(\exists x \in A)(\forall y \in A)[\neg(\neg M(x, y) \wedge \neg L(x, y))]$

$x$	$y$	$M(x, y)$	$L(x, y)$
$a$	$a$	$F$	$F$
$a$	$b$	$F$	$T$
$a$	$c$	$T$	$T$
$b$	$a$	$T$	$T$
$b$	$b$	$T$	$F$
$b$	$c$	$F$	$T$
$c$	$a$	$F$	$F$
$c$	$b$	$F$	$F$
$c$	$c$	$T$	$T$

3 0 と 1 と 2 からなる  $n$  文字の並びの集合  $B_n$  を考える. たとえば,  $n = 2$  の場合は,  $B_2 = \{00, 01, 02, 10, 11, 12, 20, 21, 22\}$  である. このとき, 次のような関係  $R_n \subseteq B_n \times B_n$  を考える. ここで  $x = x_1x_2 \dots x_n \in B_n$  および  $y = y_1y_2 \dots y_n \in B_n$  ( $i, j = 1, 2, \dots, n$  について  $x_i, y_j \in \{0, 1, 2\}$ ) であり,  $\leq$  は通常の数に対する不等号であるとする.

$$xR_ny \Leftrightarrow \forall i \in \{1, 2, \dots, n\}(x_i \leq y_i)$$

例えば,  $n = 2$  の場合,  $(00, 02) \in R_2, (10, 22) \in R_2, (02, 10) \notin R_2$  となる. この  $R_n$  は順序関係となることが示せる.

(1)  $n = 2$  の場合のハッセ図を示せ.

(2)  $n = 2$  の場合の次の上界, 極大元, 上限, 最大元を求めよ (存在しない場合もある).

(a)  $\{02, 11, 12, 20, 21\}$

(b)  $\{00, 01, 10, 11\}$